



# 住まいづくりスケジュール

<p>1</p>  <p>購入計画</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>最初に決めておくこと</b> まず、自分たちがどんな家に住みたいかを家族でしっかり話し合うことが必要です。ポイントは広さ・間取りになるでしょう。現在の住まいの不便な点など家族の意見をまとめておくことも大切です。</li><li>● <b>情報収集</b> 住宅展示場を見学する、雑誌やインターネットから情報を集めるなど情報収集の手段は数多くあります。どれかひとつというのではなく、時間があればなるべく多くの情報を集めることをお奨めします。</li><li>● <b>資金計画</b> 自己資金をいくら用意できるか、月々のローンはいくら支払えるか。ボーナス払いを併用するかどうかなど、様々な事情を考えてしっかりとした資金計画を立てましょう。例えば子供の教育費など、これからの生活設計を考えた資金計画が大切です。</li></ul>
<p>2</p>  <p>設計</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>設計依頼</b> 意中のメーカーが見つければ、基本的な設計と見積りを依頼します。事前に「どんな家を建てたいのか」や、「大まかな予算」などをきちんと伝えておきましょう。</li><li>● <b>見積りの提出</b> 設計や見積りは1社だけでなく、何社かに依頼するのが通常です。各社の設計や見積りを比較検討するのは悪いことではありません。ただし、あまりにも多くのメーカーに依頼するのは、検討するにも時間がかかるし、常識を疑われることにもなります。</li></ul>
<p>3</p>  <p>契約</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>工事請負契約</b> 依頼先が決まったら契約を結ぶことになります。その間、何回も設計の手直しや、見積りのやり取りがあります。住宅設備や部材の確認も必要です。専門用語や難しい部分は、遠慮なく担当者に質問して、納得することが大切です。</li><li>● <b>ローン申込み</b> 契約が成立すれば、住宅ローンを金融機関に申し込みます。大手住宅メーカーなら様々な手続きは代行してもらえますが、内容の確認はしっかりしておきましょう。</li></ul>
<p>4</p>  <p>建築準備</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>ご近所への挨拶</b> 建て替えの場合でも、土地を購入して新築した場合でも、ご近所への挨拶回りは必ずしておきましょう。騒音や車の出入りで迷惑をかける場合もあるかも知れません。家を建ててそこに住むということは、ご近所さんとも長い付き合いになる訳ですから…。</li></ul>
<p>5</p>  <p>建築</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>地鎮祭</b> 地鎮祭とは神主の立ち会いで、工事の安全を願って行なわれます。最近は地鎮祭を行わない施主もいますが、工事関係者の安全のためにも、できればとり行ないたいものです。</li><li>● <b>基礎工事</b> 本体工事に入る前に、建物の土台をつくる基礎工事があります。素人が見てもよくわかりませんが、信頼できるメーカーなら緻密な計算のもと、施工されているので安心です。</li><li>● <b>本体工事</b> 本体工事には、上棟工事、木工事、屋根工事、外壁工事、内装工事などが含まれます。工事期間は、工法や設計の違いで異なり、メーカーによっても異なります。工業化住宅では、工場で作る比率が大きいと現場工事は短くなり、現場施工の比率が高いと長くなる傾向はあります。</li><li>● <b>現場チェック</b> 工事がほぼ完成した段階で、現場の仕上がり具合を確認しておきましょう。最後に竣工検査がありますが、前もって見ておけばスムーズです。電気・水道・ガス等の手続きが必要です。</li><li>● <b>竣工検査</b> 建築メーカーと施主が立ち会って行なう最終検査です。事前に決められたように仕上がっているか、設備や仕様に不備は無いか、給水や排水のチェックも行ないます。もし、不備が見つかれば、直ちに補修工事に入ります。その場合、再度の最終検査が必要です。</li></ul>
<p>6</p>  <p>入居</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>引き渡し</b> 新居が引き渡されます。新居のカギの他に保証書なども渡されます。</li><li>● <b>引越</b> いよいよ引越をして新居に入居します。ご近所への挨拶などを忘れないように。お知り合いやお友達に新居の案内も必要になります。</li></ul>